

きょうから「(株)メタルドウ」

大阪商事が新たな一歩

大手レアメタル専門商社の大阪商事(株)がきょう8月1日から社名を「(株)メタルドウ」(本社〓大阪市西区京町堀3-5-6。藤田國廣社長)に改称して新たな一歩を力強く踏み出した。社名変更の狙いなどについて藤田社長に話を聞いた。

「社名変更はい、今期に入ってから
つごころから検討され
ていたのか。」
「何かきっかけ
があったのか。」

「昨年末ぐらいからで、具体的に(社
で)動き出したのは

トータルメタル企業めざす

「格別なものはない。気持ちで言えば『元服』というところか。少年期からやっとな青年期を迎えた会社の心の印のようなものだ。設立以来の大阪商事という社名はレアメタルのリース・企業への方向付けを意図したものだ。今後レアメタル全般にビジネスチャンスが拡大していくと考えている。『メタルドウ』はMetal、We doというのだが、Doは行うという意味以外『役に立つ』とか『成長する』とかの意味もある。そこは意識した」

「新ロゴとコーポレート・カラーは。」

「ロゴはドウをもじったものだ。チェン化することで、繋がりが、結びつきを表している。またコーポレート・カラーは従来はブルーだったが、プラチナゴールドのようなものになった。いまだ明確にはしていない」



藤田 國廣社長

て頂いていると思うが、一般的に大阪商事という社名からは『何をやっている会社だろう』と会社のイメージが漠然となるところがある。そこでもう少し明確な業種、業態を表す社名の方が良いのではと考えたのが始まり

ルやスーパーアロイの原料リサイクルがメインという業態に変化はない。しかし昨今セカンダリー材の、リユース向け販売やプライマリー商品等にもビジネスのチャンスが表れている。将来的には量、質両面においてメタル全般にビジネスチャンスが拡大していくと考えている。『メタルドウ』はMetal、We doというのだが、Doは行うという意味以外『役に立つ』とか『成長する』とかの意味もある。そこは意識した」

(今村 佐七)